

創立30周年記念事業 土岐市と科学イベントを実施

核融合科学研究所は、創立30周年記念事業として、土岐市教育研究所と共同で8月31日(土)に科学イベント「科学体験パワーアップ講座」を実施しました。主に土岐市内から、小学校5・6年生24名とその保護者等29名の方々にご参加いただきました。

開会式では、竹入所長及び土岐市の山田教育長から挨拶がありました。

この講座には、「初めてのプログラミング、ドローンを飛ばそう」と「超伝導リニアモーターカーでレース&テニス」の二つのコースがあり、参加者は、希望したコースに分かれて課題に挑戦しました。プログラミ



直線コースを走る超伝導リニアモーターカー

ングをテーマとしたコースでは、教育用プログラミング環境「Scratch」を使って、ドローンの競技会にチームを作って挑戦しました。また、超伝導をテーマとしたコースでは、磁気浮上や電磁石等について実験を通じて学んだ上で、手の平サイズの超伝導リニアモーターカーを作ってレースを行うなどチームごとに競争しました。

閉会式では、土岐市の長谷川教育次長から「今日の経験を活かして、これからも科学に興味を持っていろいろなことに挑戦してほしい」との講評があり、続いて、竹入所長から参加者に講座の修了証が授与され、成績優秀チームの表彰が行われました。



プログラミングでドローンが飛行

令和元年度防災訓練を実施

核融合科学研究所は、9月17日(火)に、土岐市南消防署の協力を得て防災訓練を実施し、職員や学生など354名が参加しました。

訓練は、9時30分に南海トラフを震源とする震度6弱の地震が発生し、研究Ⅱ期棟3階給湯室より電気火災による出火、研究Ⅰ期棟2階事務室で棚が倒れ職員が足を負傷したという想定の下、危機管理指揮本部内に災害対策本部を立ち上げて実施しました。

訓練では研究所の職員で構成される自衛消防隊が、岐阜県・三市（土岐市、多治見市、瑞浪市）等の関係機関への通報、電気・ガス・水道等のライフライン状況確認、実験設備の高圧ガス・危険物質等における安全確認の活動を迅速に行い、併せて地震災害を想定した負傷者の救護、電気火災への対応を行いました。隊員以外の職員らは、研究所構内に指定された一時避難場所へ速やかに避難し、安否情報確認を行いました。



自衛消防隊員(本部隊)の活動開始



地元石拾地区の方も参加して行われた消火栓取扱い訓練

今年度の訓練には、昨年度の訓練の見学に続いて、地元土岐市下石町石拾地区の代表の方々にも、一時避難や屋内消火栓の取扱い訓練等に参加していただきました。

今年度も、自衛消防隊に詳細なシナリオを知らせず実施するなど、より実践的な訓練となり、土岐市南消防署からは、「自衛消防隊によるそれぞれの役割について、訓練同様、有事の際にもしっかりと対応できるよう準備願いたい。」との講評がありました。



大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

核融合科学研究所 発行

NIFS NEWS

No.250

2019年10,11月号

〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6

TEL : 0572-58-2222(代) FAX : 0572-58-2601

URL : <http://www.nifs.ac.jp/>

E-mail : nifs-news@nifs.ac.jp

※過去のニュースはホームページにてご覧いただけます。

複写される
方へ

本紙に掲載された著作物を複写したい方は(社)日本複写権センターと包括複写特許契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

一般社団法人著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F

TEL:03-3475-5618 FAX:03-3475-5619 E-mail:info@jaacc.jp 著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本研究所へご連絡ください。